

サノフィ・アベンティスとメルク社、
新しい動物用医薬品ジョイントベンチャーの CEO にラウル・コーハン氏を任命

- 提案されているジョイントベンチャーの社名は「メリアル・インターベット」に -

フランス・パリおよびニュージャージー州ホワイトハウスステーション - 2010 年 7 月 27 日 - サノフィ・アベンティス(EURONEXT:SAN および NYSE:SNY)と Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A. (NYSE:MRK)は本日、提案されている動物用医薬品ジョイントベンチャーの最高経営責任者(CEO)にラウル・E・コーハン氏を任命することを発表しました。サノフィ・アベンティスと Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A. (米国とカナダ以外では MSD の名称)は、メリアル社とインターベット/シェリング・プラウ社を統合し、メリアル・インターベットの社名で動物用医薬品分野のグローバルリーダー企業を創設する予定です。

コーハン氏は現在、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.の動物用医薬品事業部門であるインターベット/シェリング・プラウ社の社長を務めています。同氏は、新しいジョイントベンチャーが規制当局から承認され、取引が完了し次第(2011 年度第 1 四半期を想定)、新たな役職に就任することになります。新しい動物用医薬品ジョイントベンチャーの設立は、最終合意が成立し、米国、欧州、およびその他の国における独占禁止審査を通過し、通例の取引完了条件が満たされることが条件となります。

サノフィ・アベンティス最高経営責任者(CEO)のクリストファー・A・ヴィーバッハーは次のように述べています。「ラウル・コーハン氏は、動物用医薬品部門における新しいリーダー企業のトップを担います。両社は互いに補完的な人材、製品、ノウハウを擁しており、広い範囲の地域と市場をカバーする企業が誕生することになります。新しいメリアル・インターベットジョイントベンチャーが大きな成長を牽引してくれるものと期待しています」

Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.の会長兼最高経営責任者(CEO)のリチャード・T・クラーク氏は、「コーハンは、動物用医薬品とグローバルな製薬業界に関して豊富な経験を有しています。彼が、世界的な成長力を維持しつつ、2社の統合を指揮してくれることをうれしく思います。この新しいジョイントベンチャーは、医薬品と生物学的製剤の分野において、動物用医薬品およびサービスの幅広いポートフォリオを創り出し、多くの顧客のニーズを満たしていきます」と述べています。

ラウル・コーハン氏は、Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.のエグゼクティブ・バイスプレジデント兼グローバル動物用医薬品担当社長を務めています。1984 年にシェリング・プラウ社に入社し、重職を歴任してきました。シェリング・プラウ社では、動物用医薬品担当副責任者、コーポレート・エクセレンスおよび管理サービス担当シニア・バイスプレジデントを務めました。また、シェリング・プラウ社の動物用医薬品部門とコンシューマー・ヘルスケア部門から構成される

グローバル・スペシャリティ・オペレーションズ部門の監督にあたったこともあります。アルゼンチンのヘネラルサンマルティン士官学校を卒業し、ブエノスアイレス大学でMBA(経済学)を取得しています。

現在、メリアル社の会長を務めるジョゼ・バレラ氏は、取引完了まで続投します。そのため、ジョゼ・バレラ氏はコーハン氏と緊密に連携し、新たに統合される動物用医薬品事業の移行と創設において重要な役割を果たすこととなります。バレラ氏は2001年にメリアル社に入社しました。2005年には最高執行責任者(COO)に就任し、コンパニオンアニマルと産業動物セグメントの営業およびマーケティングやそれを支援する商業部門を含め、メリアル社の世界的な商業活動を担うビジネスオペレーション部門の責任者を務めました。2007年にメリアル社の会長に任命され、グローバル戦略を実行して、彼の指揮のもとで同社を業界のリーダーに育て上げました。

この新たなジョイントベンチャーでは、医薬品と生物学的製剤の分野において、動物用医薬品およびサービスの幅広いポートフォリオを提供するとともに、世界中のあらゆる国と分野で成長機会を活用していきます。

動物用医薬品の世界市場は、2008年に190億ドル規模に達しました。売上全体に占める割合は、コンパニオンアニマル用製品が40%、産業動物用製品が60%となっています。この市場は、動物性タンパク質に対する需要の高まりや、コンパニオンアニマルのヘルスケアに対する消費者の根強いニーズを受けて、今後5年間に年間約5%のペースで成長するものと期待されます。

取引完了までは、メリアル社とインターベット/シェリング・プラウ社がそれぞれ独立して事業を展開していきます。

以上